

小児がん診療の集約化の実態

～小児がん拠点病院情報公開と学会登録に基づく

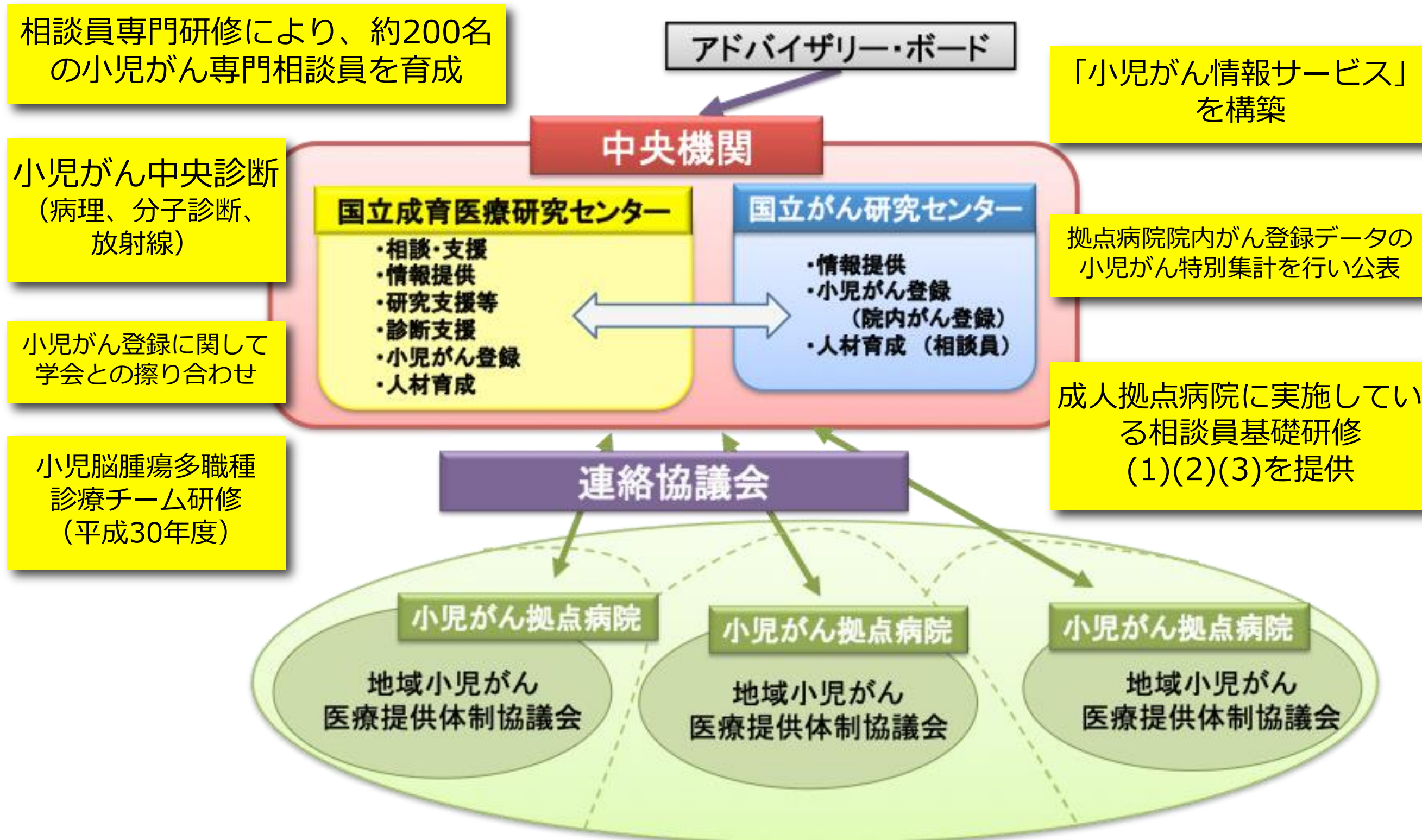
国立成育医療研究センター 小児がんセンター
松本公一

2019.2.8 小児がん中央機関アドバイザリーボード



小児がん中央機関

厚生労働大臣が指定する小児がん中央機関は拠点病院を牽引し、全国の小児がん医療の質を向上させるため、以下の役割を担うものとする。



小児がん拠点病院 情報公開

国立成育医療研究センターについて

▶ 理事長挨拶

▶ 理念と方針

トップ > 国立成育医療研究センターについて > 主な取り組み > 小児がんセンター（小児がん拠点病院・中央機関） > 全国の小児がん診療施設の情報

全国の小児がん診療施設の情報

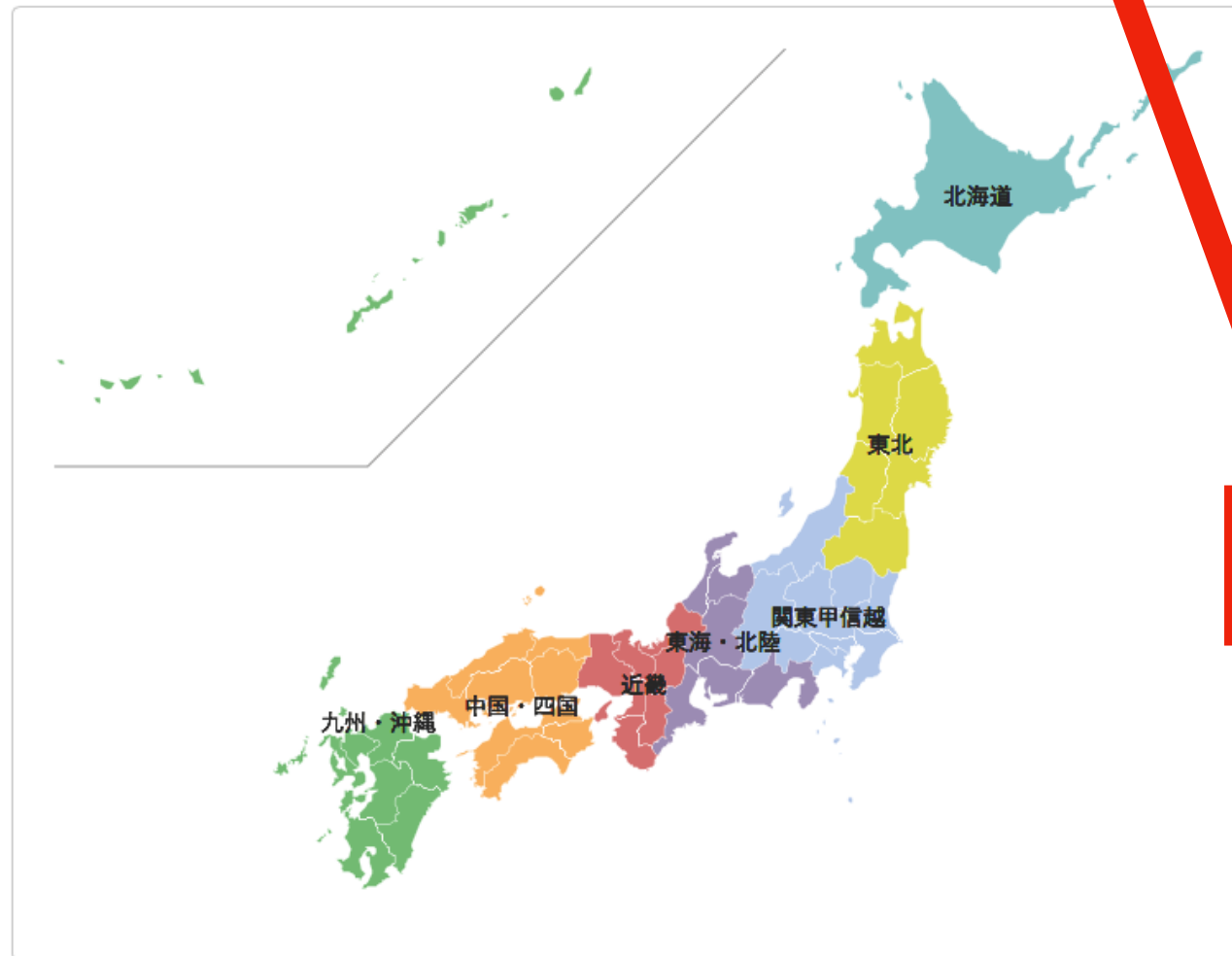
はじめに

この度、小児がん診療の質の向上や小児がん患者さんへの適切な医療の提供へつなげるため、各施設のご協力を得て小児がん診療施設についての情報を掲載することとなりました。公開されている情報については下記の説明をよくお読みいただき、ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

一覧の施設名をクリックすると、その施設の情報公開のPDFファイルが開きます。（全ページです）施設一覧の★マークは小児がん拠点病院に指定されている施設です。

スマートフォン等で地図が表示されない場合は、下記のリンクよりご覧ください。

▶ 北海道 ▶ 東北 ▶ 関東甲信越 ▶ 東海・北陸 ▶ 近畿 ▶ 中国・四国 ▶ 九州・沖縄



妊娠と薬情報センター

子どもの心の診療ネットワーク事業

エコチル調査メディカルサポートセンター

小児慢性特定疾病情報センター

小児がんセンター（小児がん拠点病院・中央機関）

臨床研究品質確保体制整備事業

がん情報サービス ganjoho.jp

病院を探す

「病院を探す」の使い方 お問い合わせ

がん診療連携拠点病院 がん相談支援センター 小児がん拠点病院 緩和ケア病棟のある病院 希少がん情報公開専門病院

TOP > 小児がん拠点病院を探す

小児がん拠点病院を探す

更新日：2018/09/27 掲載日：2013/03/29

が指定した、全国に15施設ある小児がん拠点病院(用語集)の情報を記載しています。

掲載している情報は、2017年10月に厚生労働省に提出された「新規指定・指定更新推薦書」または「現況報告書」をもとに作成しております。各施設のご協力を得て、随時、情報を更新しておりますが、現状と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

国立がん研究センターと共に、国に「小児がん中央機関」として指定されている国立成育医療研究センターでも、小児がん診療施設についての情報を公開していません（2017年1月1日時点の情報）。

国立成育医療研究センター 小児がんセンター [全国の小児がん診療施設の情報](#)



小児がん拠点病院 情報公開

診療実績(初発・再発別) (再発例は再発で紹介された症例のみ)	2017			2016			2015		
	初発	再発	合計	初発	再発	合計	初発	再発	合計
造血器腫瘍	46	1~3	48	41	1~3	44	44	1~3	46
急性リンパ性白血病	11	1~3	12	15	1~3	16	12	1~3	13
急性骨髄性白血病	7~9	0	7~9	4~6	1~3	4~6	4~6	0	4~6
まれな白血病	1~3	0	1~3	0	0	0	0	0	0
MDS/MPDのうちCML	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	0	0	0
MDS/MPDのうちCMLを除く	0	0	0	4~6	0	4~6	4~6	0	4~6
非ホジキンリンパ腫	4~6	1~3	7~9	4~6	1~3	4~6	4~6	0	4~6
ホジキンリンパ腫	0	0	0	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
その他のリンパ増殖性疾患	1~3	0	1~3	0	0	0	1~3	0	1~3
組織球症(HLH)	1~3	0	1~3	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3
組織球症(LCH)	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3	4~6	1~3	4~6
その他の組織球症	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
その他の造血器腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Down症TAM登録	7~9	0	7~9	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
固形腫瘍	104	1~3	106	67	4~6	72	58	1~3	60
神経芽腫瘍群	11	0	11	7~9	1~3	10	4~6	0	4~6
網膜芽腫	11	0	11	7~9	1~3	10	7~9	0	7~9
腎腫瘍	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
肝腫瘍	4~6	0	4~6	7~9	0	7~9	7~9	0	7~9
骨腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
軟部腫瘍	4~6	0	4~6	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3
胚細胞腫瘍(脳・脊髄病変以外)	4~6	0	4~6	4~6	1~3	4~6	1~3	0	1~3
脳脊髄腫瘍	59	1~3	60	26	1~3	27	27	1~3	28
その他の固形腫瘍	1~3	1~3	1~3	4~6	0	4~6	1~3	1~3	1~3
その他の固形腫瘍(具体名)	褐色細胞腫 大腸癌			粘表皮癌 1 肺芽腫 2 膵腫瘍 1			原発不明ラ ブドイド腫瘍	膵芽腫	

2017年
147施設中127施設 86.4%

↓

2018年
146施設中140施設 95.9%

※再発症例は、対象年において他施設から紹介された再発がんの症例です(自施設での再発症例は含みません)。

初診時18歳以下を対象
院内がん登録データを基準として収集
再発症例・死亡症例数も収集

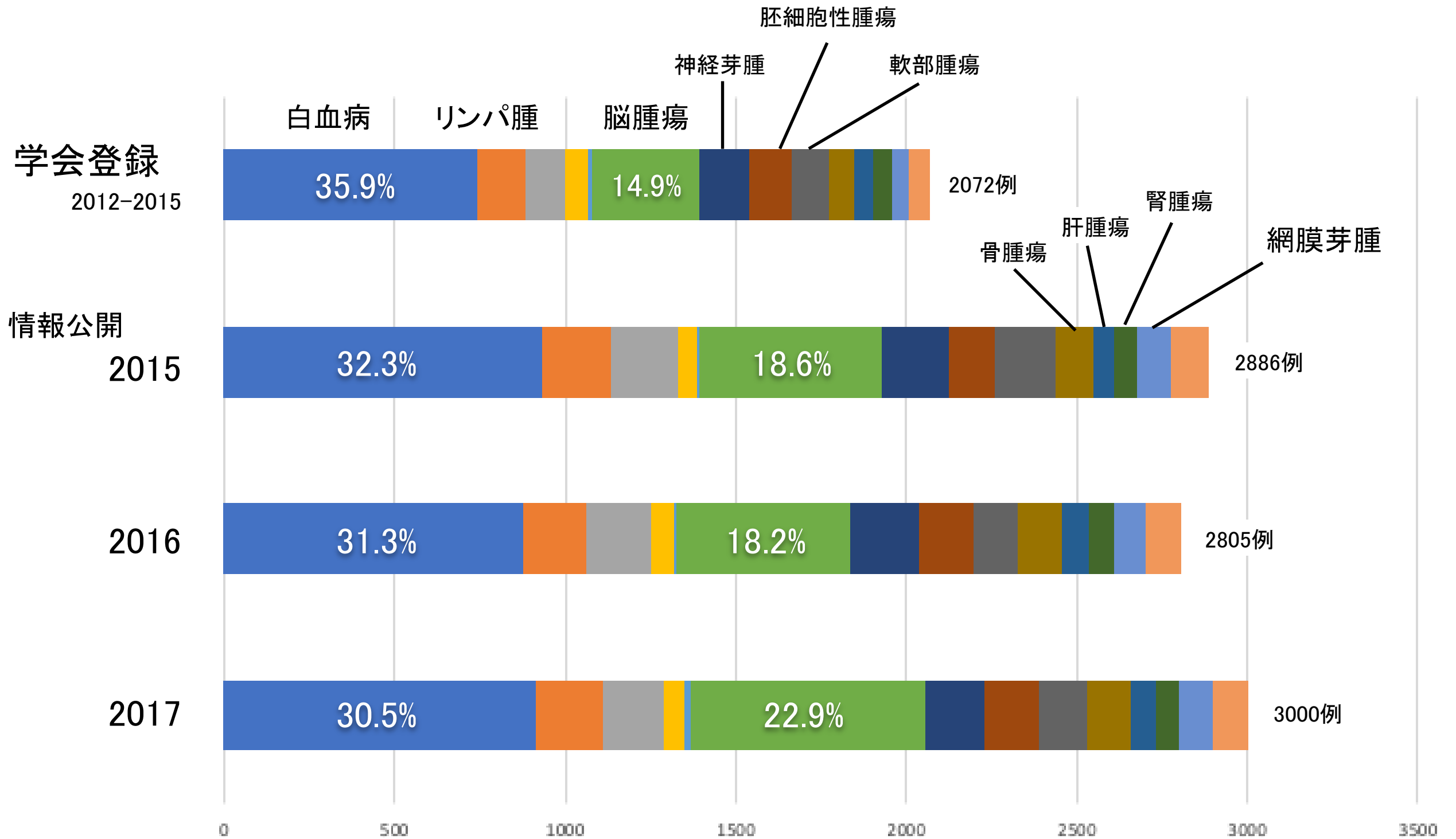
診療実績(入院数)	2017	2016	2015	2014	2013	2010-2012
小児がん入院患者延べ数	869	766	689	640		
小児がん入院在院延べ日数	17,943	15,395	13,736	14,543		
全入院患者延べ数	15,390	13,828	13,019	13,254		
全入院患者入院在院延べ日数	154,141	141,076	137,688	127,422		

診療実績(造血幹細胞移植)	2017	2016	2015	2014	2013	2010-2012
同種造血細胞移植	18	17	13	10	10	26
同胞間造血細胞移植	3	1	2	1	0	5
家族間ハプロ造血細胞移植※	3	1	2	0	2	1
非血縁造血細胞移植	8	10	1	5	5	11
臍帯血移植	4	5	8	4	3	9
自家造血細胞移植	12	7	7	1	7	19
合計	30	24	20	11	17	45

※HLA完全一致または一座不一致の親子間移植も含まれます

死亡患者数	2017	2016	2015	2014
血液腫瘍	6	4	6	5
固形腫瘍	2	4	4	6
脳・脊髄腫瘍	8	11	9	7
合計	16	19	19	18

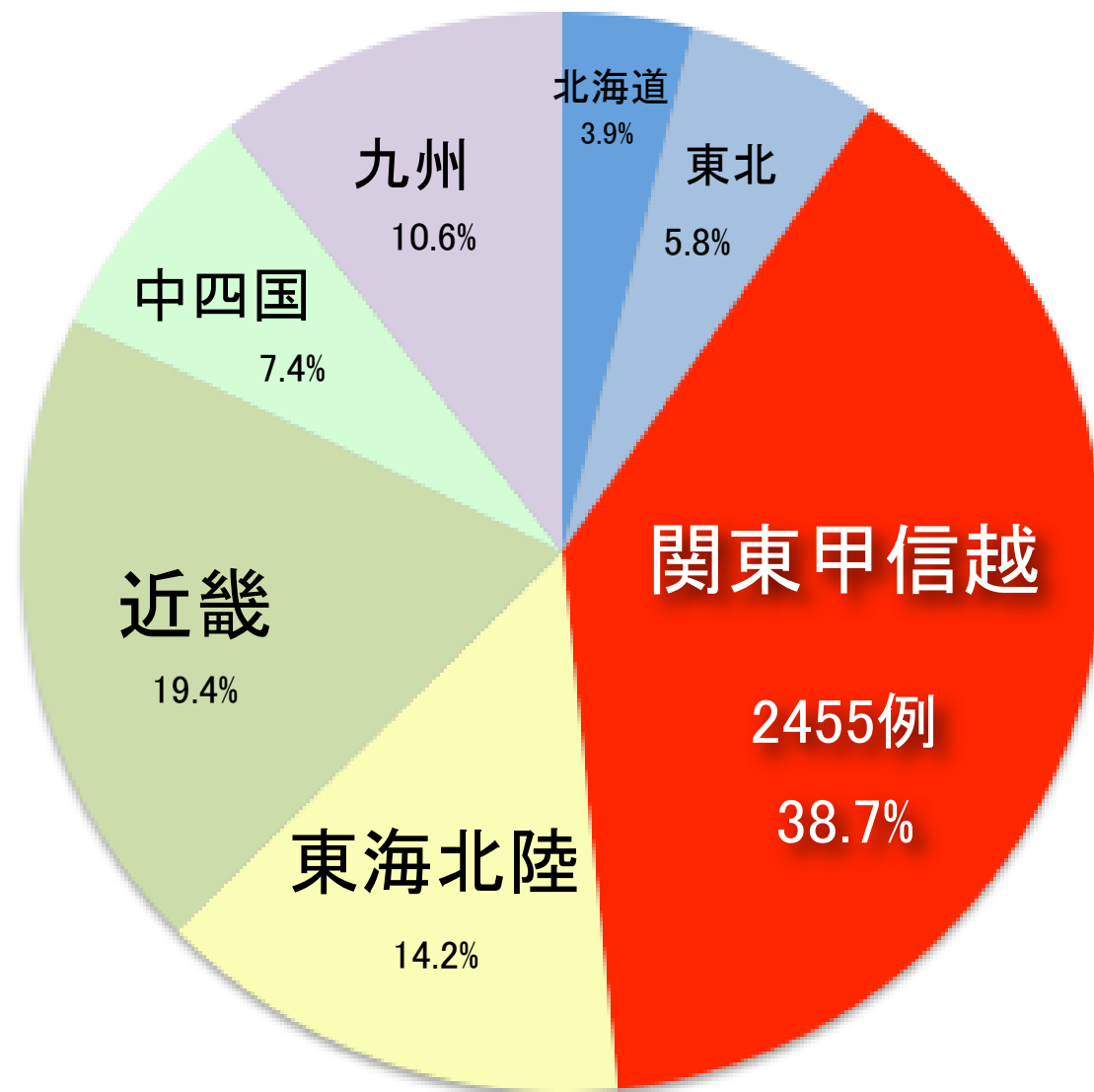
学会登録と情報公開の疾患分布（初発症例に限定）



学会登録と情報公開の地域分布(初発症例に限定)

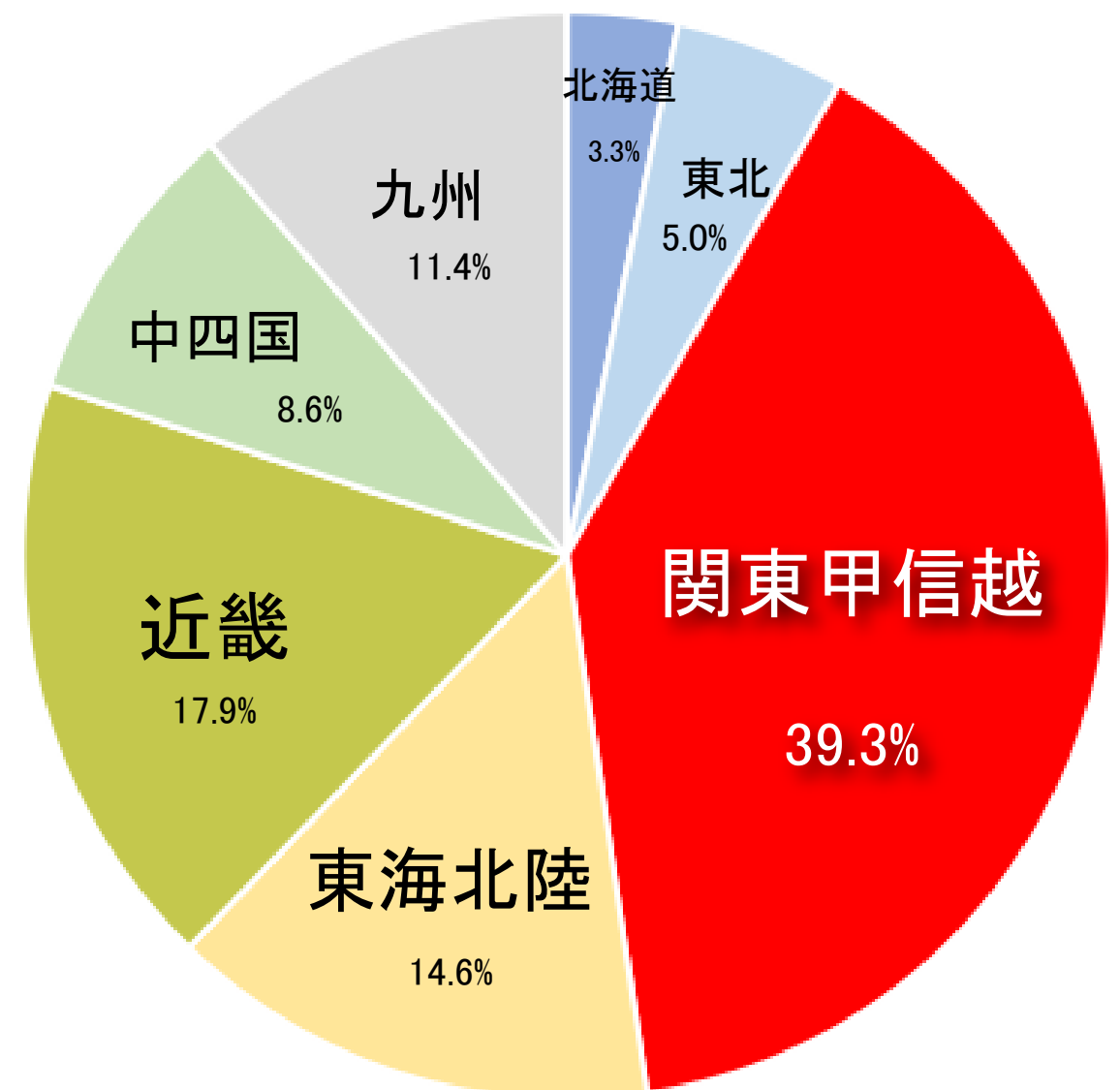
学会登録

2013-2015 (n=6347)



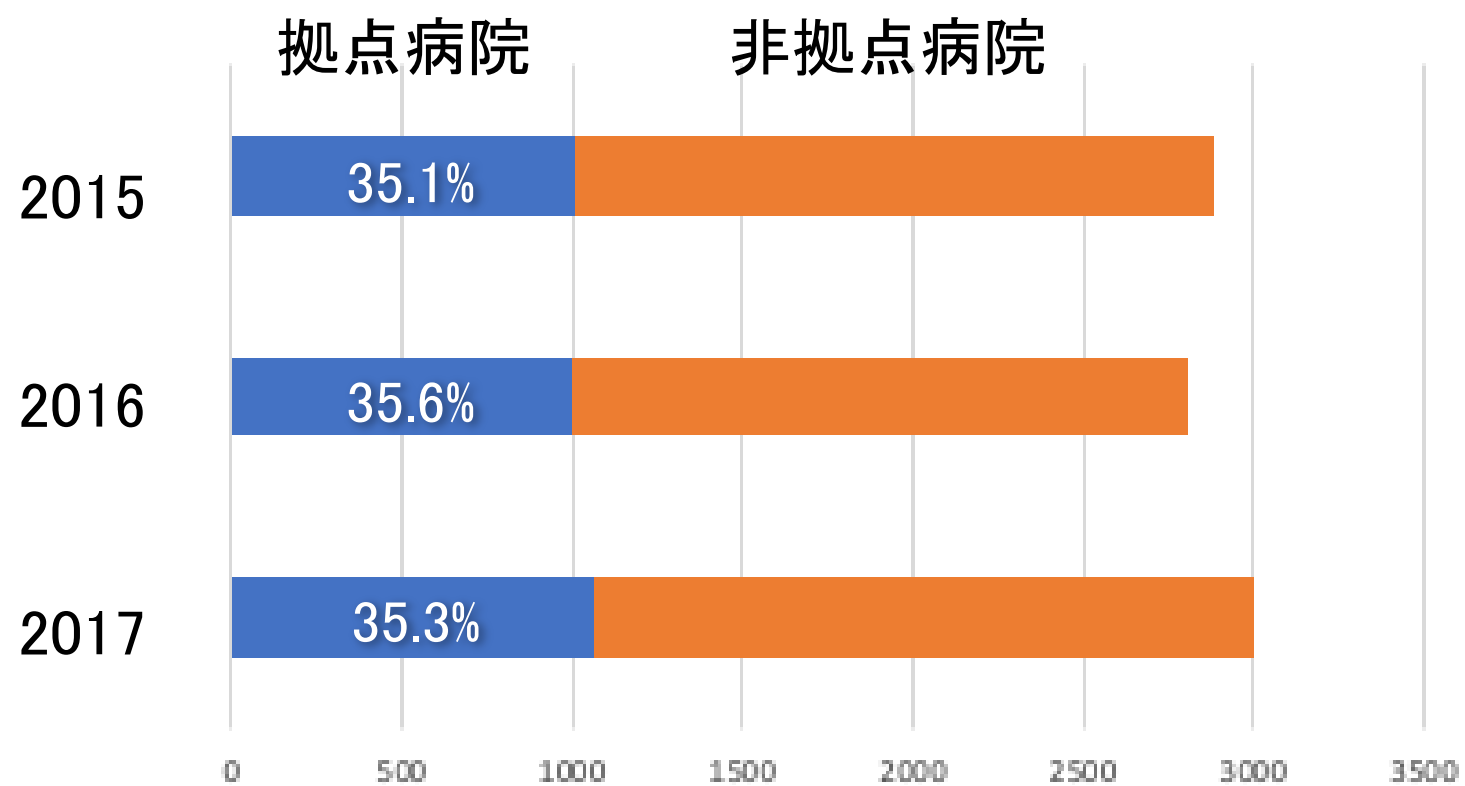
情報公開

2017 (n=3000)

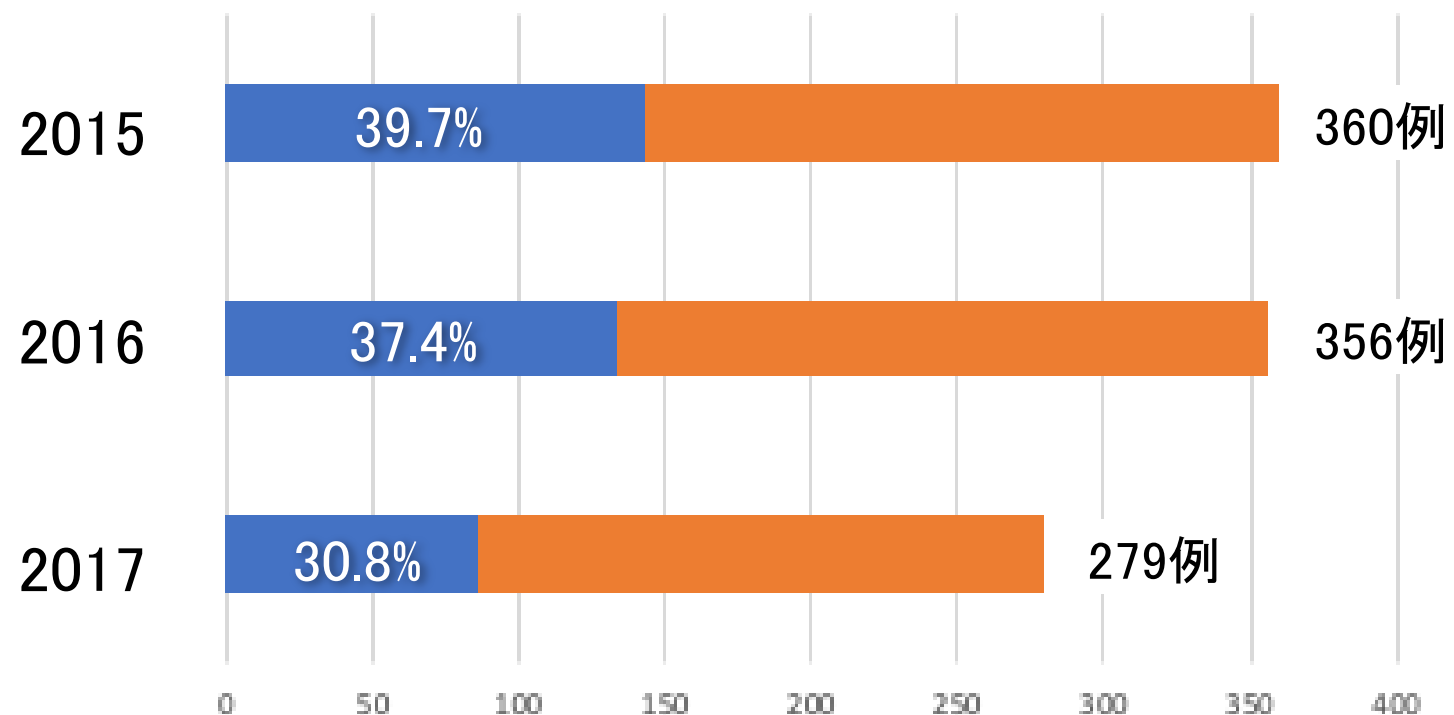


情報公開からみる集約化について(症例数ベース)

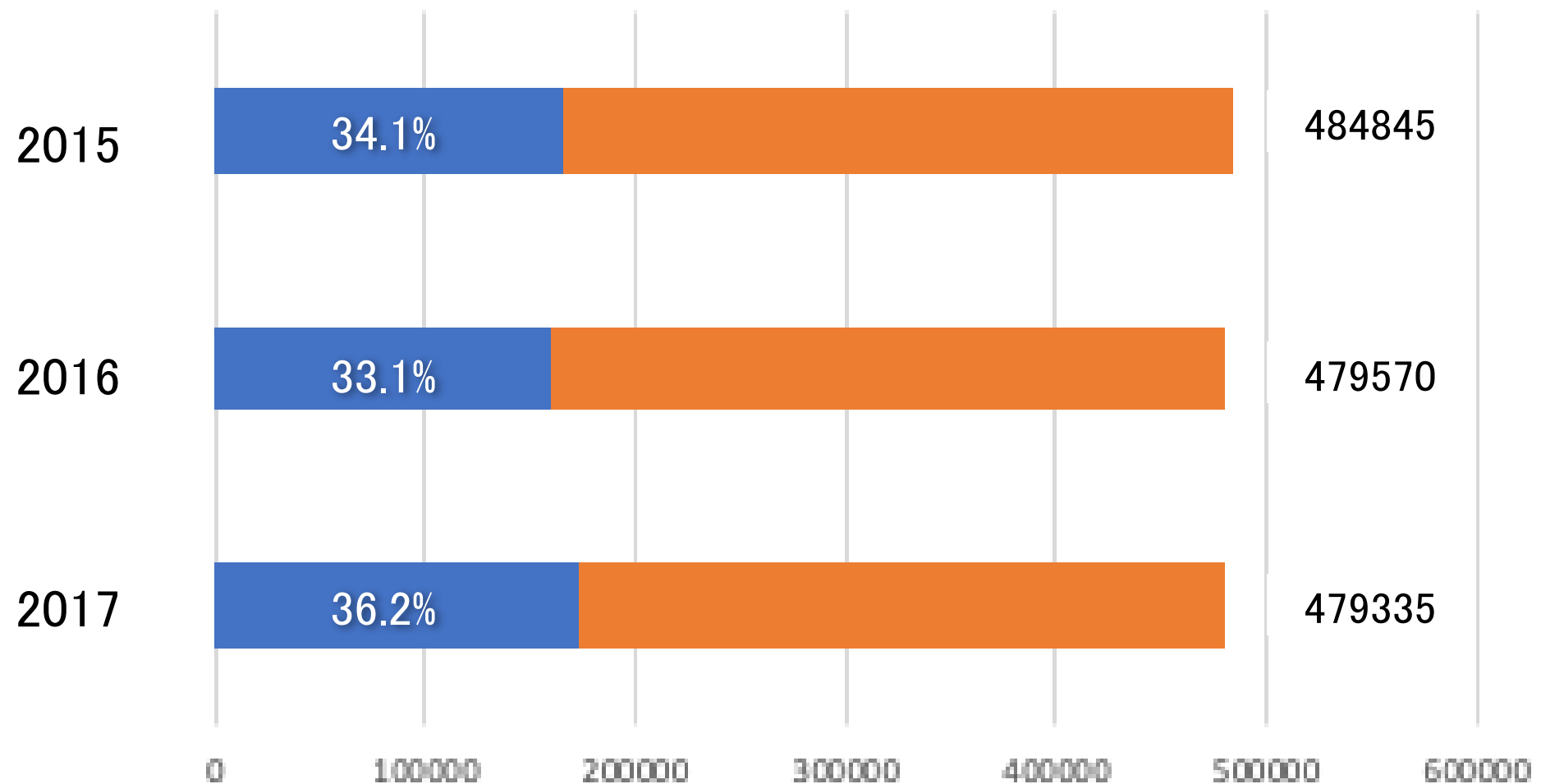
初発例



再発例



情報公開からみる集約化について (入院のべ日数ベース)



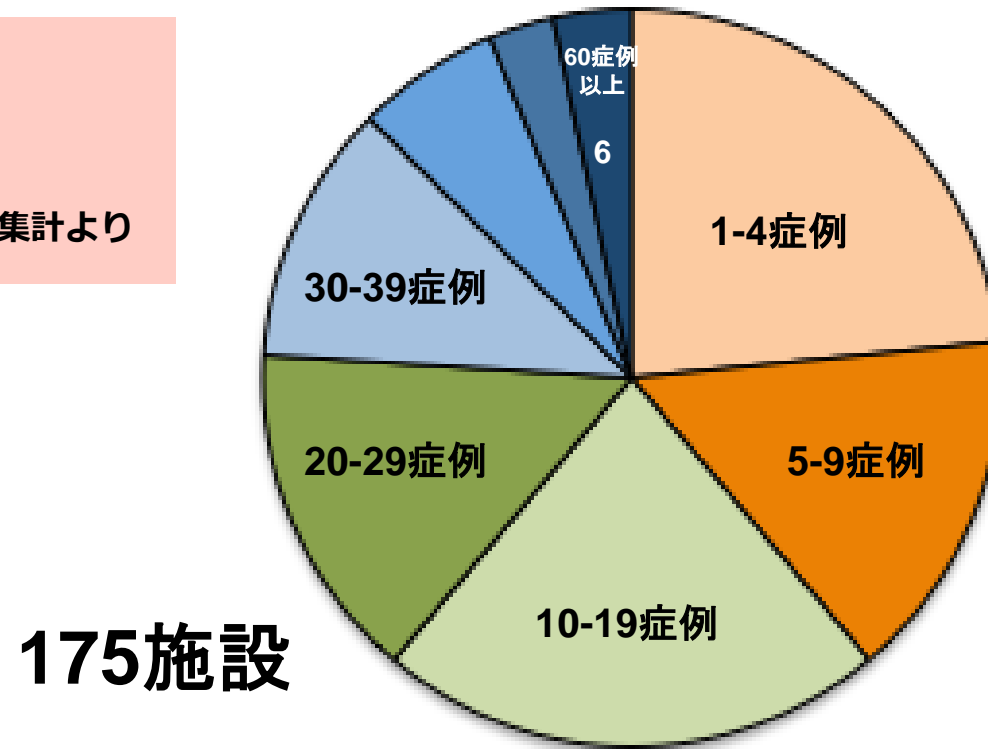
症例数、入院のべ日数等からみて、小児がん拠点病院15施設への集約化は35%程度であり、ここ数年では大きな変化はないことがわかる。

小児がん拠点病院制定前後の診療施設数の変化

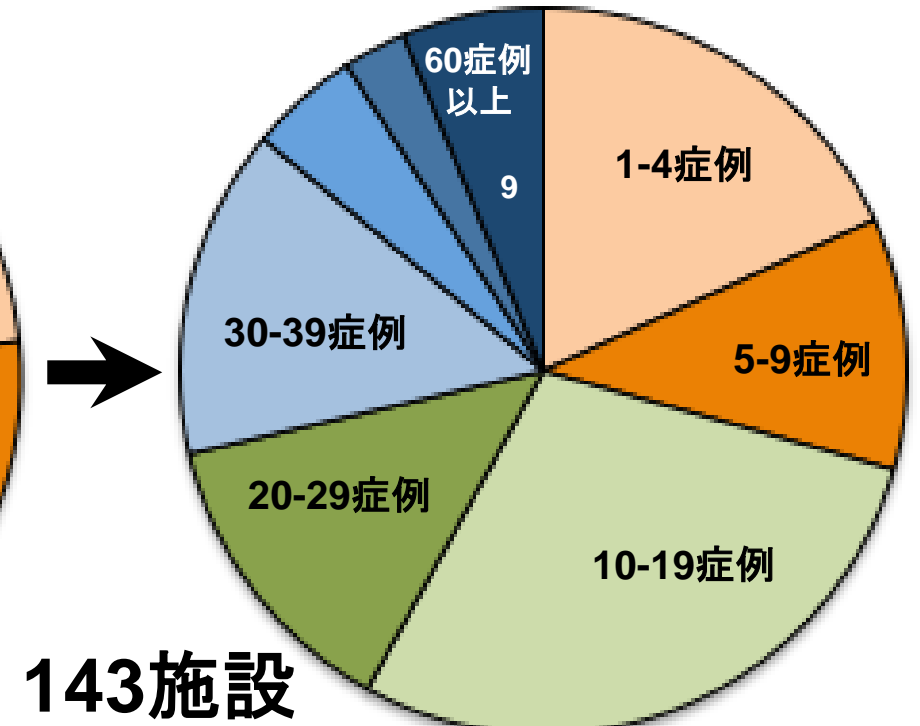
血液腫瘍

日本小児血液・がん学会 疾患登録集計より

2010-2012



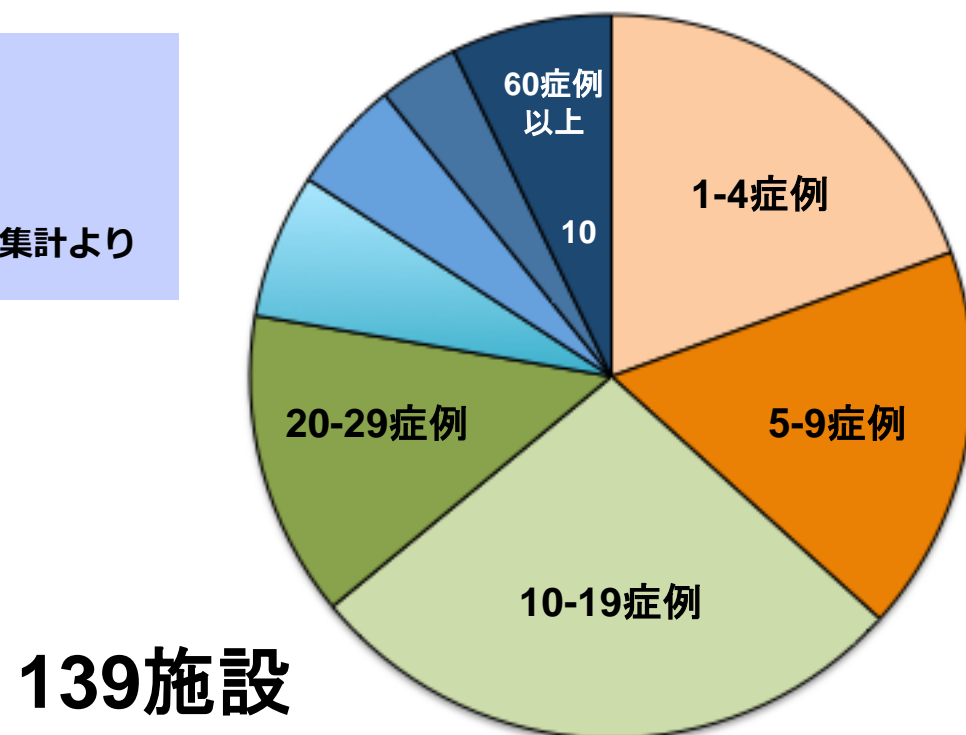
2013-2015



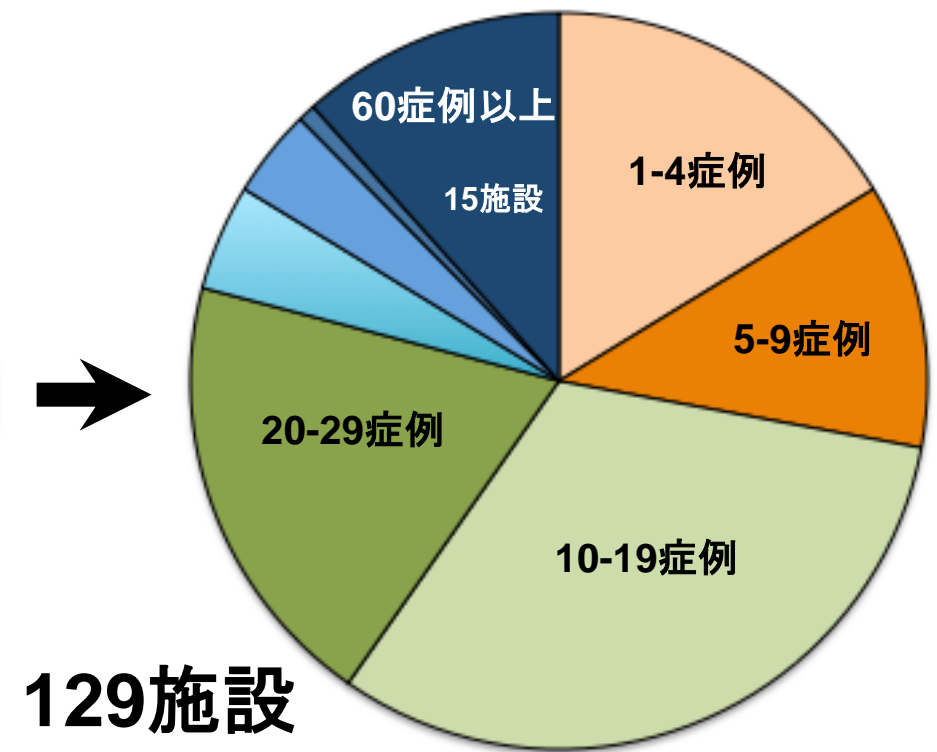
固形腫瘍

日本小児血液・がん学会 疾患登録集計より

2010-2012



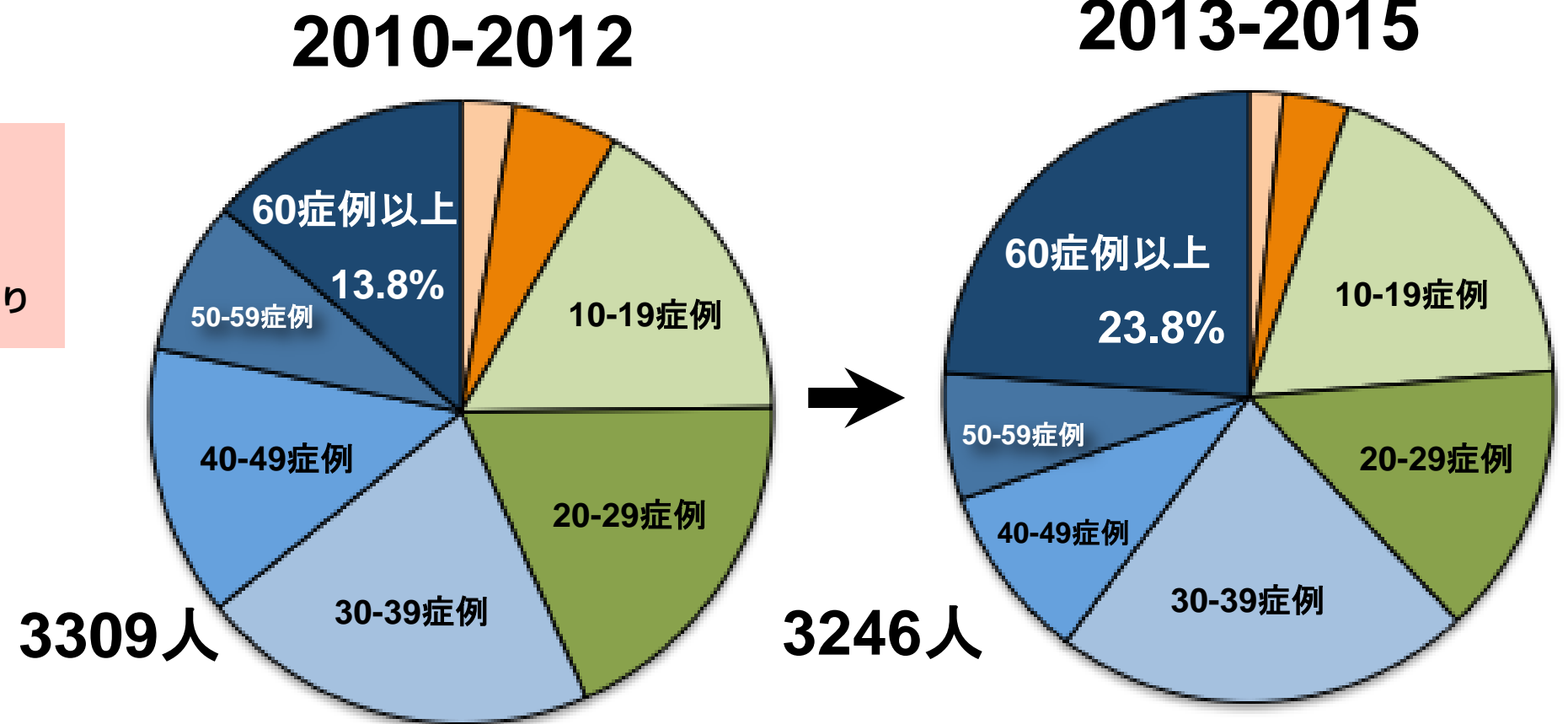
2013-2015



小児がん拠点病院制定前後の診療患者数の変化

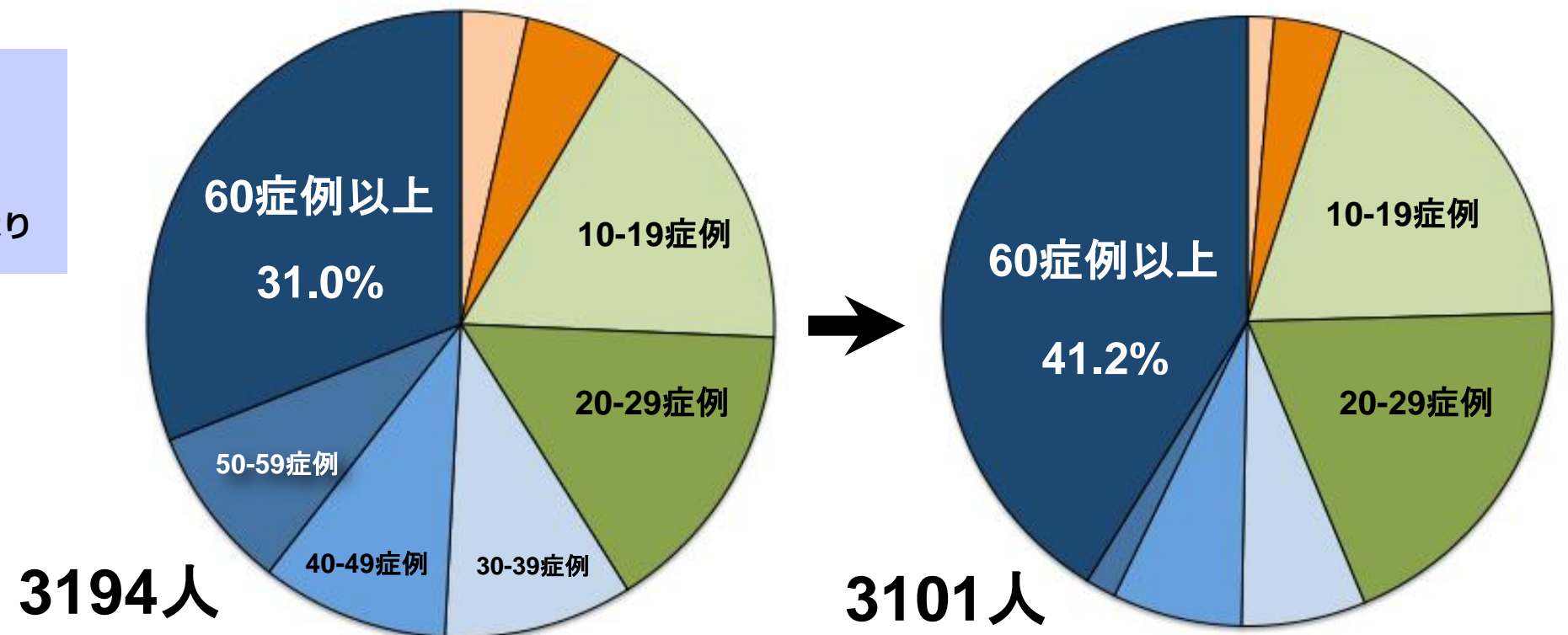
血液腫瘍

日本小児血液・がん学会 疾患登録集計より



固形腫瘍

日本小児血液・がん学会 疾患登録集計より



血液腫瘍

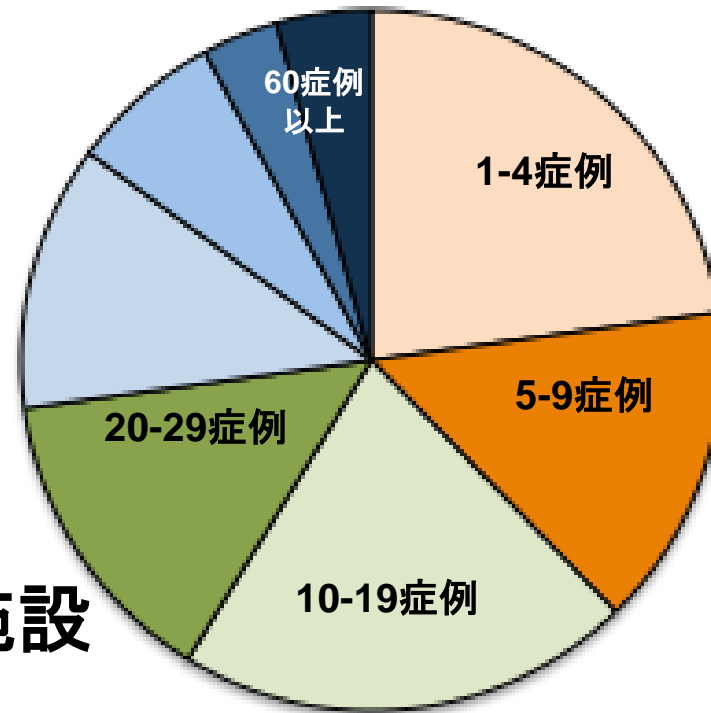
日本小児血液・がん学会 疾患登録集計より

地域別にみた診療病院数

2010-2012

関東甲信越、中部、近畿

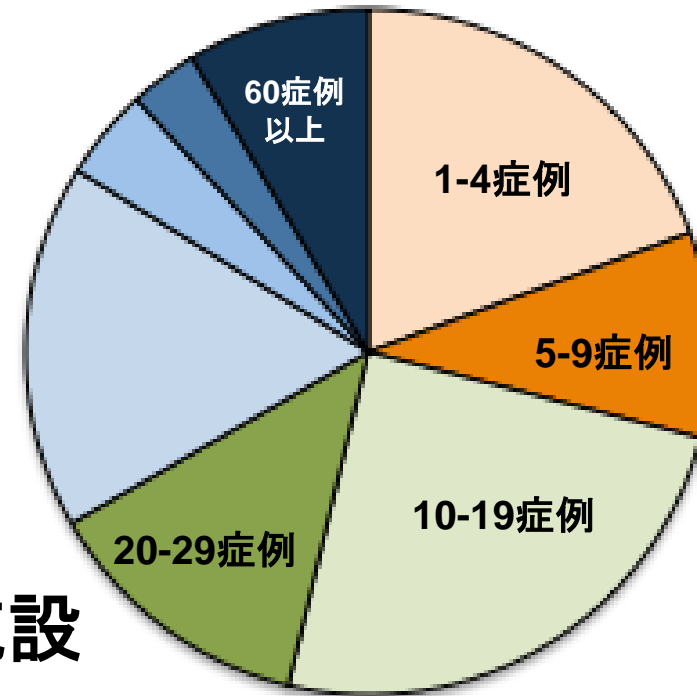
114施設



2013-2015

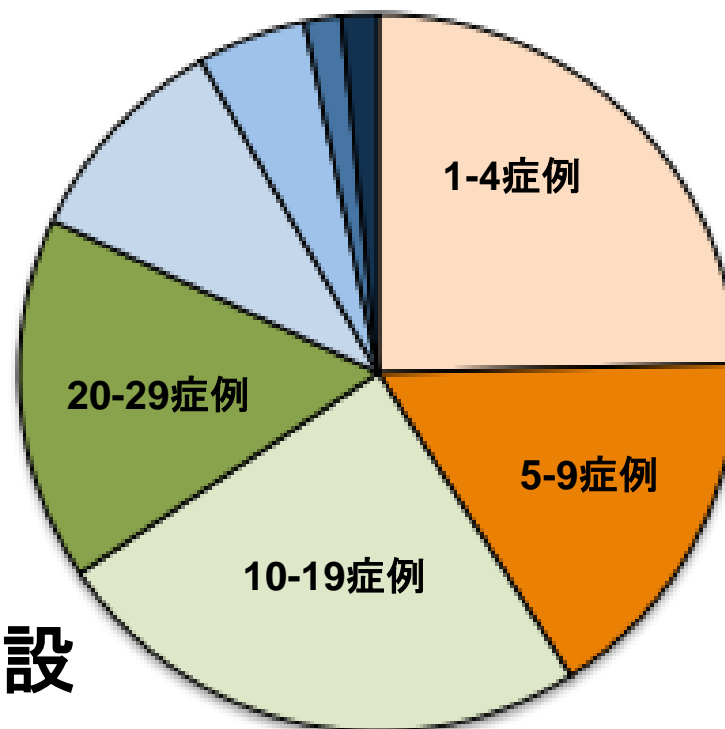


93施設

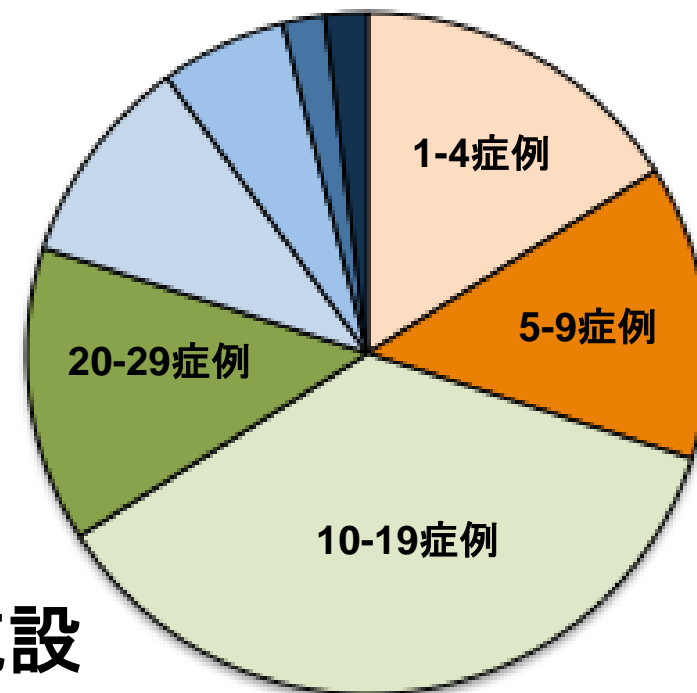


北海道、東北、中国、九州

61施設



50施設



血液腫瘍

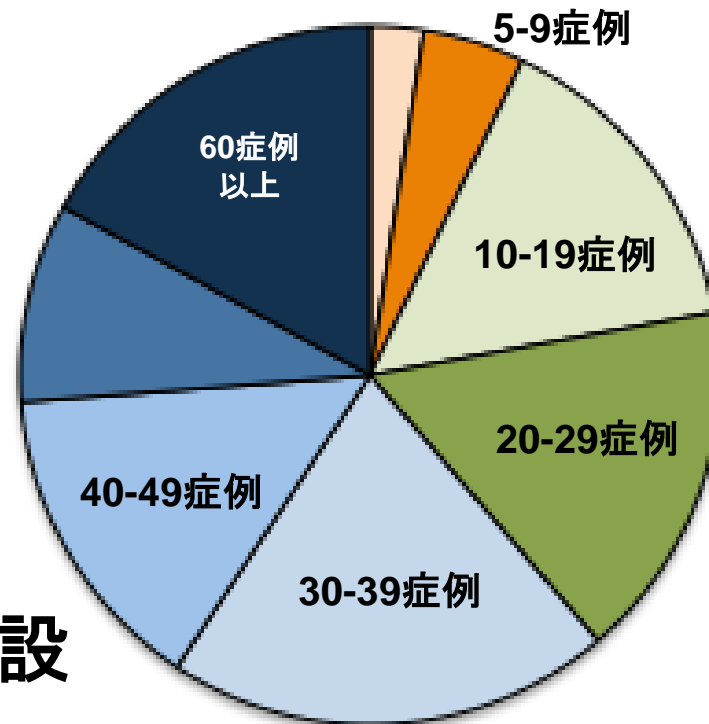
日本小児血液・がん学会 疾患登録集計より

地域別にみた診療患者数

2010-2012

関東甲信越、中部、近畿

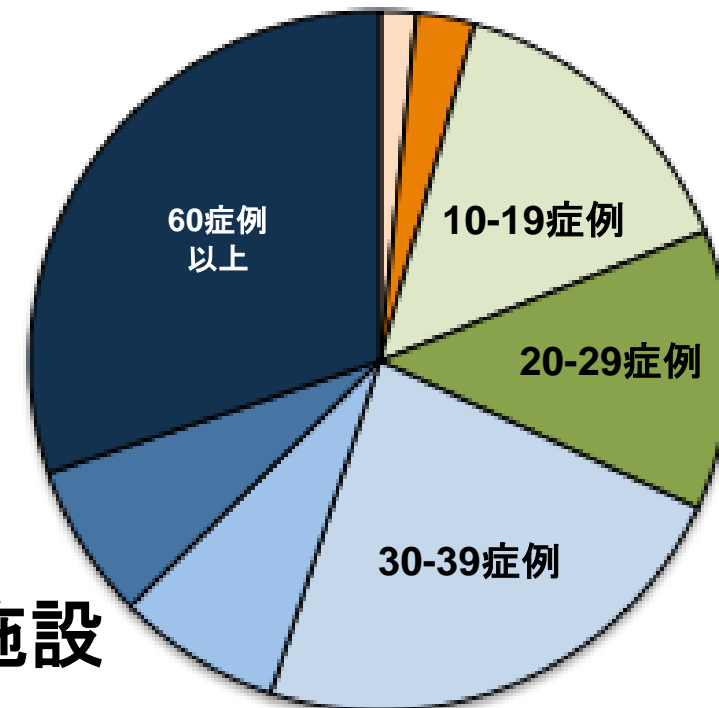
114施設



2013-2015

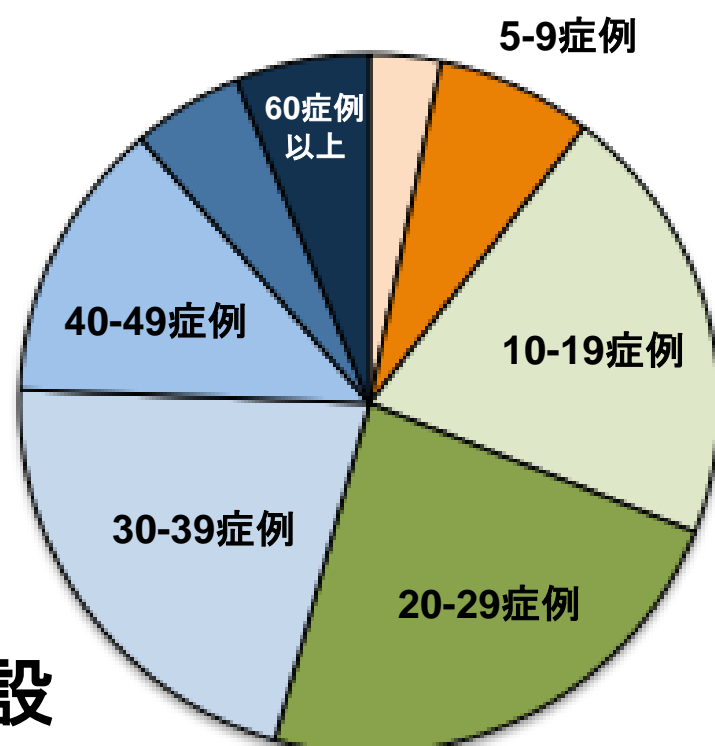


93施設

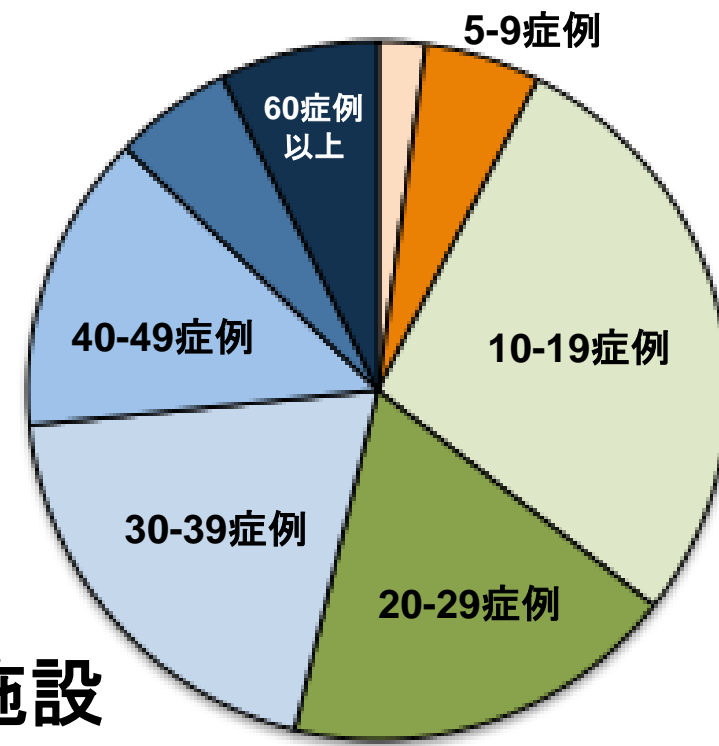


北海道、東北、中四国、九州

61施設



50施設



固形腫瘍

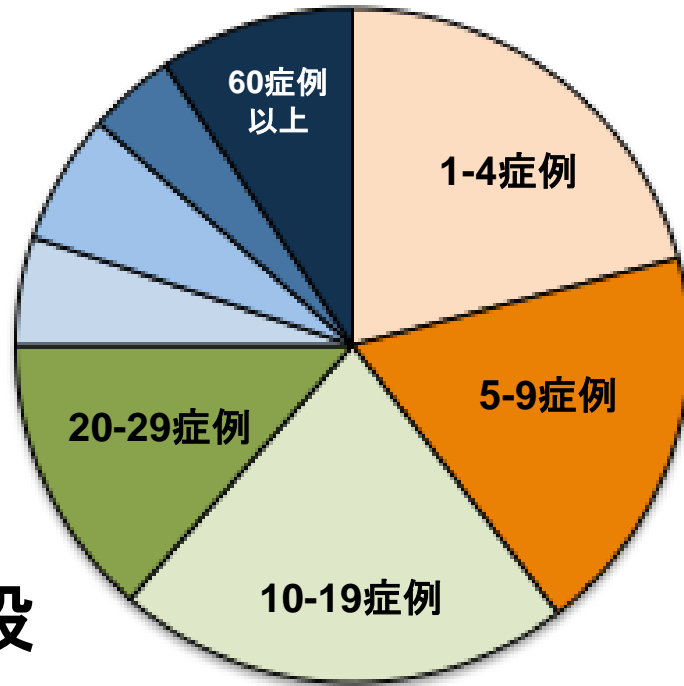
日本小児血液・がん学会 疾患登録集計より

地域別にみた診療病院数

2010-2012

関東甲信越、
中部、近畿

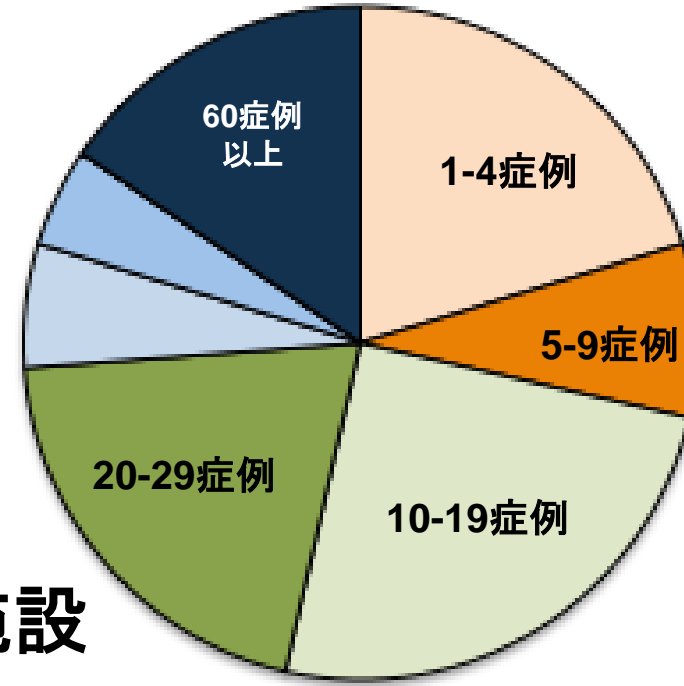
96施設



2013-2015

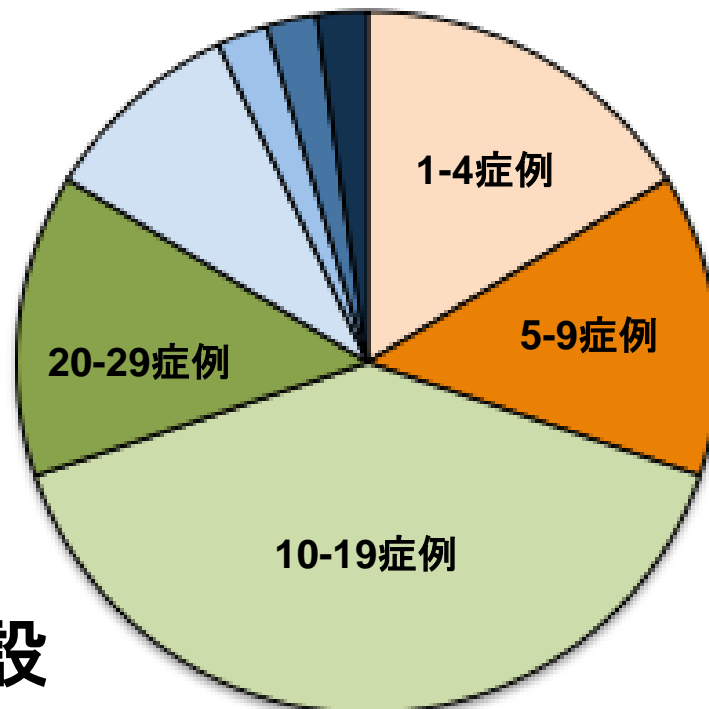


84施設

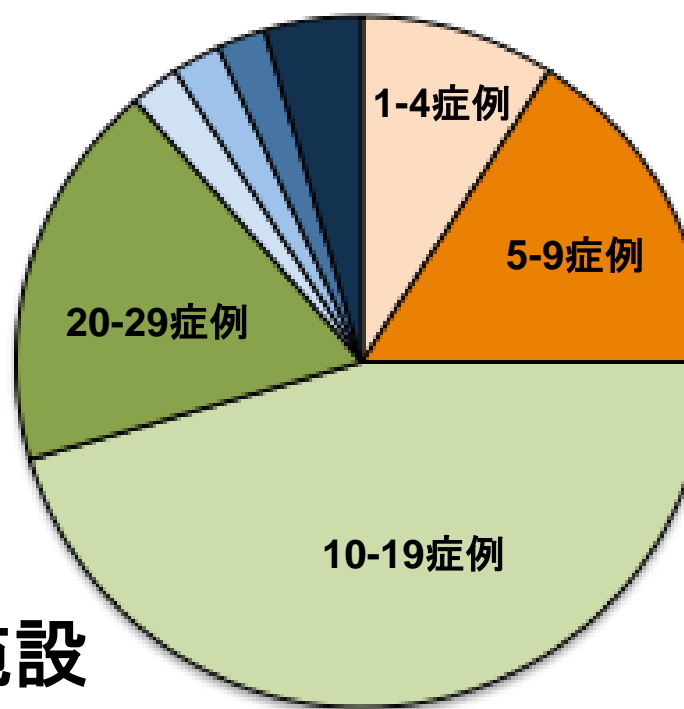


北海道、東北、
中四国、九州

43施設



44施設

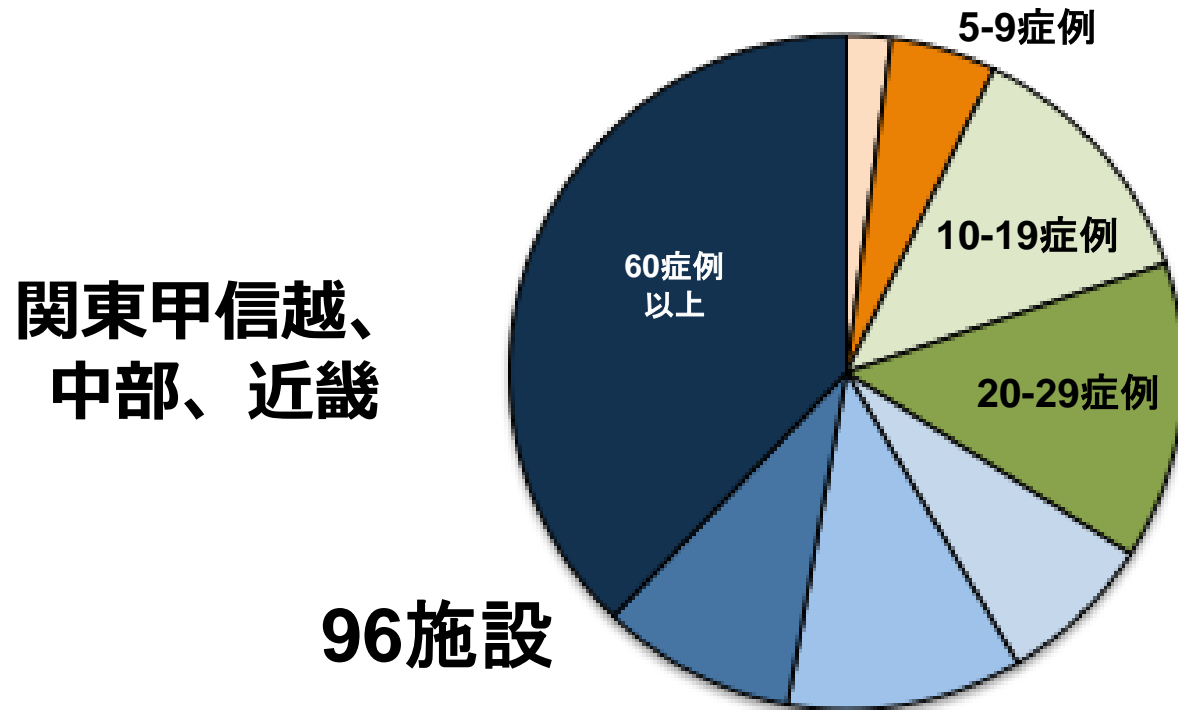


固形腫瘍

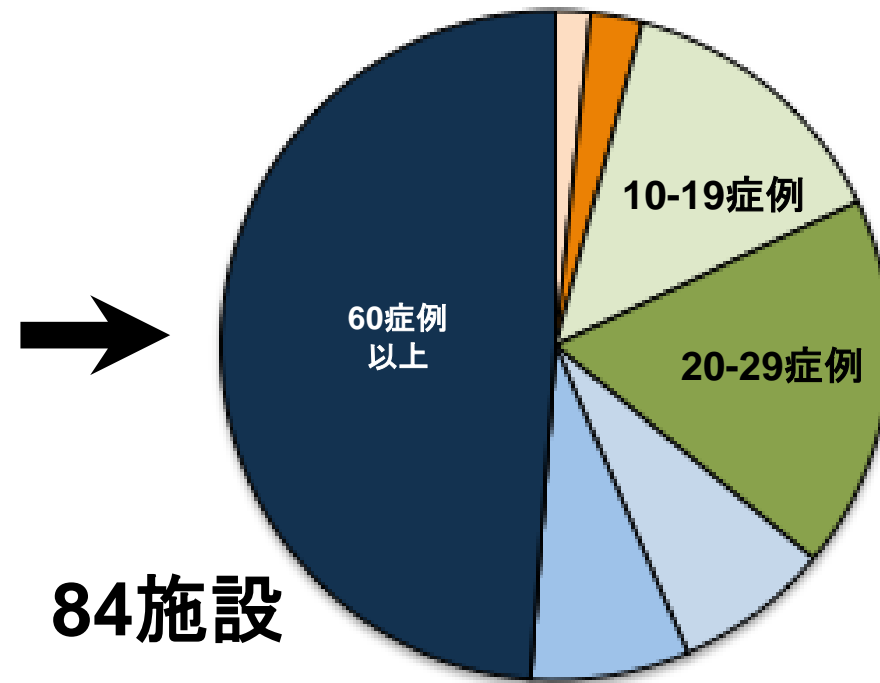
日本小児血液・がん学会 疾患登録集計より

地域別にみた診療患者数

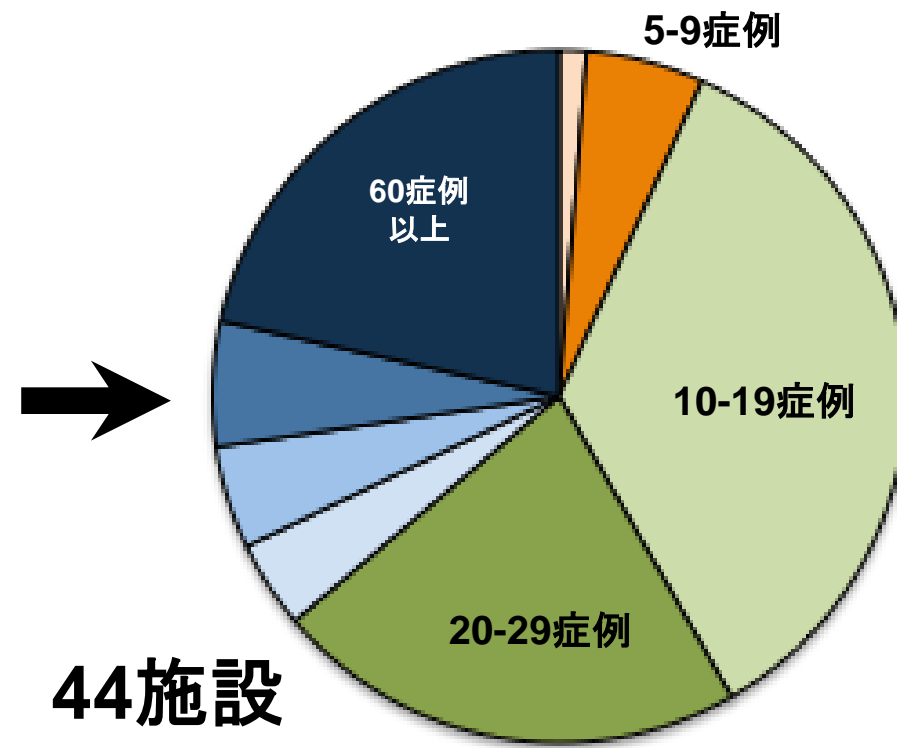
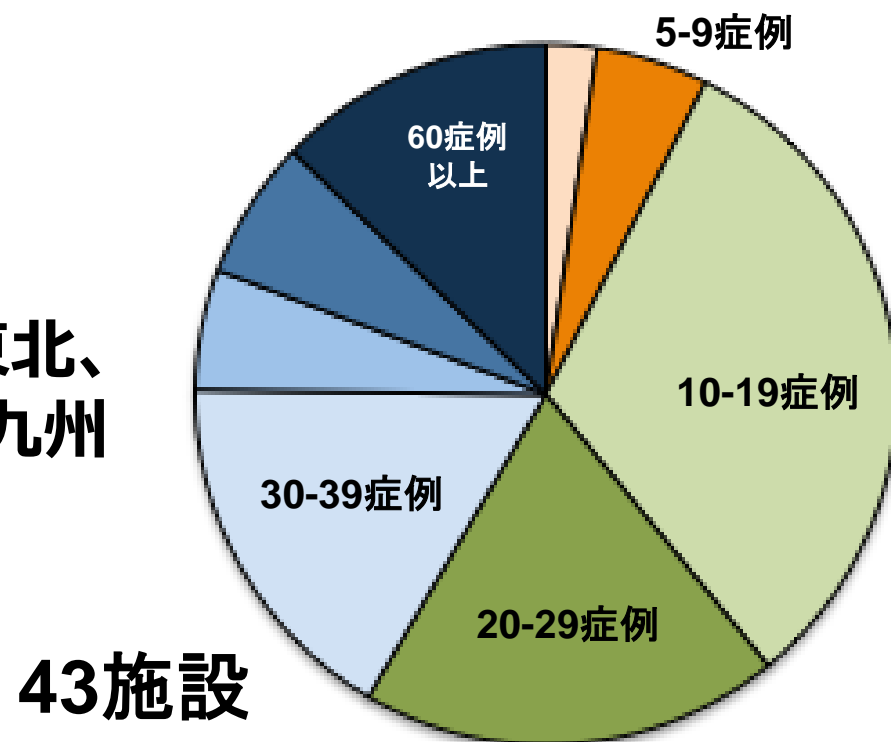
2010-2012



2013-2015



北海道、東北、中四国、九州



日本小児血液・がん学会 疾患登録集計からのまとめ

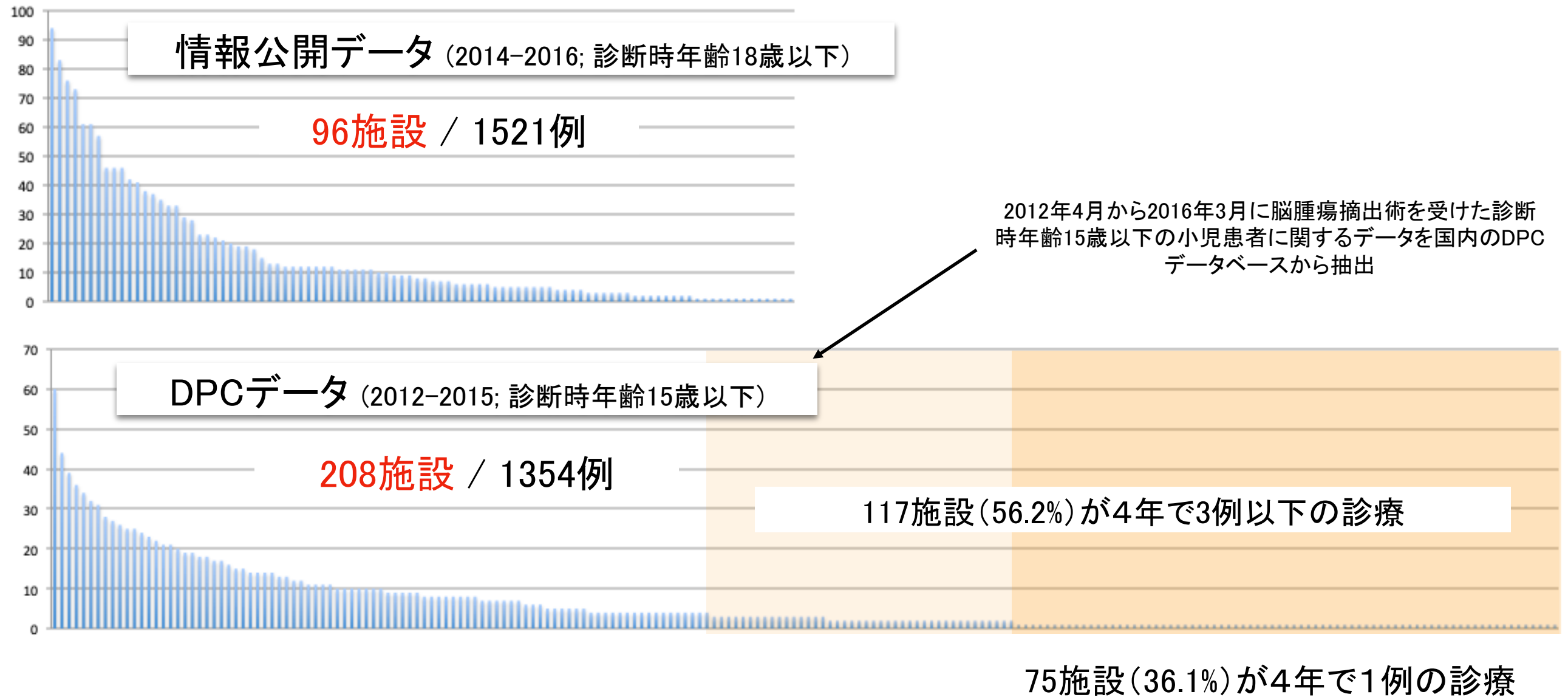
□田 日本小児血液・がん学会 疾患登録のデータから、小児がん拠点病院の指定後、小児がん患者の集約化は緩やかに進んでいた。

□田 小児がんの集約化は、血液腫瘍よりも固形腫瘍ですでに進んでいた。

□田 小規模の病院の減少傾向、大規模病院への集約傾向は、都市部で進行していたが、地方部ではそれほど進んでいなかった。

□田 小児がんの集約化に関しては、血液腫瘍、固形腫瘍間で異なり、都市部と地方部でも異なっていた。それぞれで、対応する施策を考える必要性が示唆された。

情報公開データは、脳腫瘍診療に関しては、氷山の一角か？



小児がん拠点病院が把握する診療病院が全てDPC病院ではないことを考えても、かなりたくさんの方で小児脳腫瘍の手術が行われていることがわかる。

小児がん拠点病院等の連携による移行期を含めた小児がん医療提供体制整備に関する研究

(H29-がん対策-一般-007 主任研究者:松本公一)

